

現 勢



東消防署救助工作車(令和5年度更新)

概要

上尾市と伊奈町の概要

【上尾市】

上尾市は、首都東京から35kmの距離にあり、埼玉県の南東部に位置しています。東は伊奈町と蓮田市に、南はさいたま市に、西は川越市と川島町に、北は桶川市と隣接しています。

昭和30年1月1日、上尾町、平方町、原市町、大石村、上平村、大谷村の3町3村が合併して上尾町となり、3年後の昭和33年7月15日の市制施行で上尾市が誕生しました。当時、人口は約3万7千人でしたが、地理的条件の良さに国の高度経済成長政策も加わり、田園都市から工業都市、そして住宅都市へと変わりました。

令和5年に市制施行65周年を迎えました。

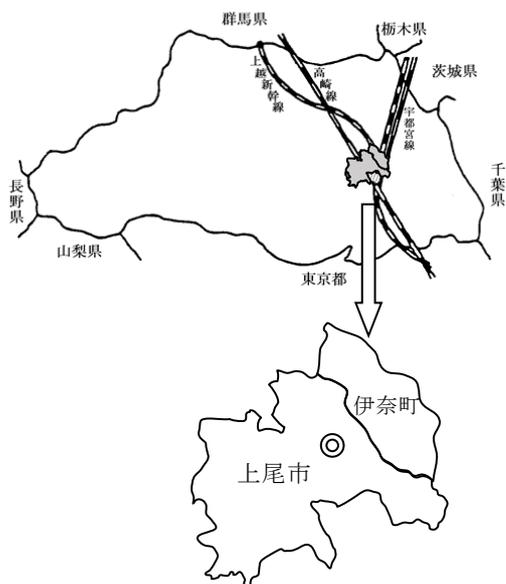
【伊奈町】

伊奈町は、埼玉県の中南部、東京都心から40km圏内の東北新幹線と上越新幹線の分岐点に位置しています。昭和18年に小室村と小針村が合併した際、今から400年ほど前に代官頭（のちの関東郡代）伊奈備前守忠次公がこの地に陣屋を構えたことから、伊奈氏にちなみ伊奈村と命名したことが、その名の由来です。

今もなお、町の東部を流れる綾瀬川付近一帯に広がる田園地帯や梨・ぶどうなどの果樹園、そして自然林など、緑豊かな自然が多く残っています。昭和58年の埼玉新都市交通ニューシャトルの開通等により都市基盤整備が進み、若い家族が集う活気あふれる町へと発展を続けています。

上尾市と伊奈町の位置

(令和6年4月1日現在)



	上尾市	伊奈町
面積	45.51 k m ²	14.79 k m ²
広ぼう	東西 10.48 k m 南北 9.32 k m	東西 2.50 k m 南北 7.50 k m
海拔	15.4 m	18.0 m
経緯度	東経 139° 35' 37" 北緯 35° 58' 38"	東経 139° 37' 26" 北緯 35° 99' 99"
人口	229,995 人	45,042 人
世帯数	107,608 世帯	19,719 世帯

消 防 予 算

令和6年度の当市一般会計当初予算は、788億8,000万円で、このうち、
消防予算は37億7,269万円であり、構成比率は4.8%となっています。

令和6年度一般会計歳出当初予算及び構成比

(単位：千円)

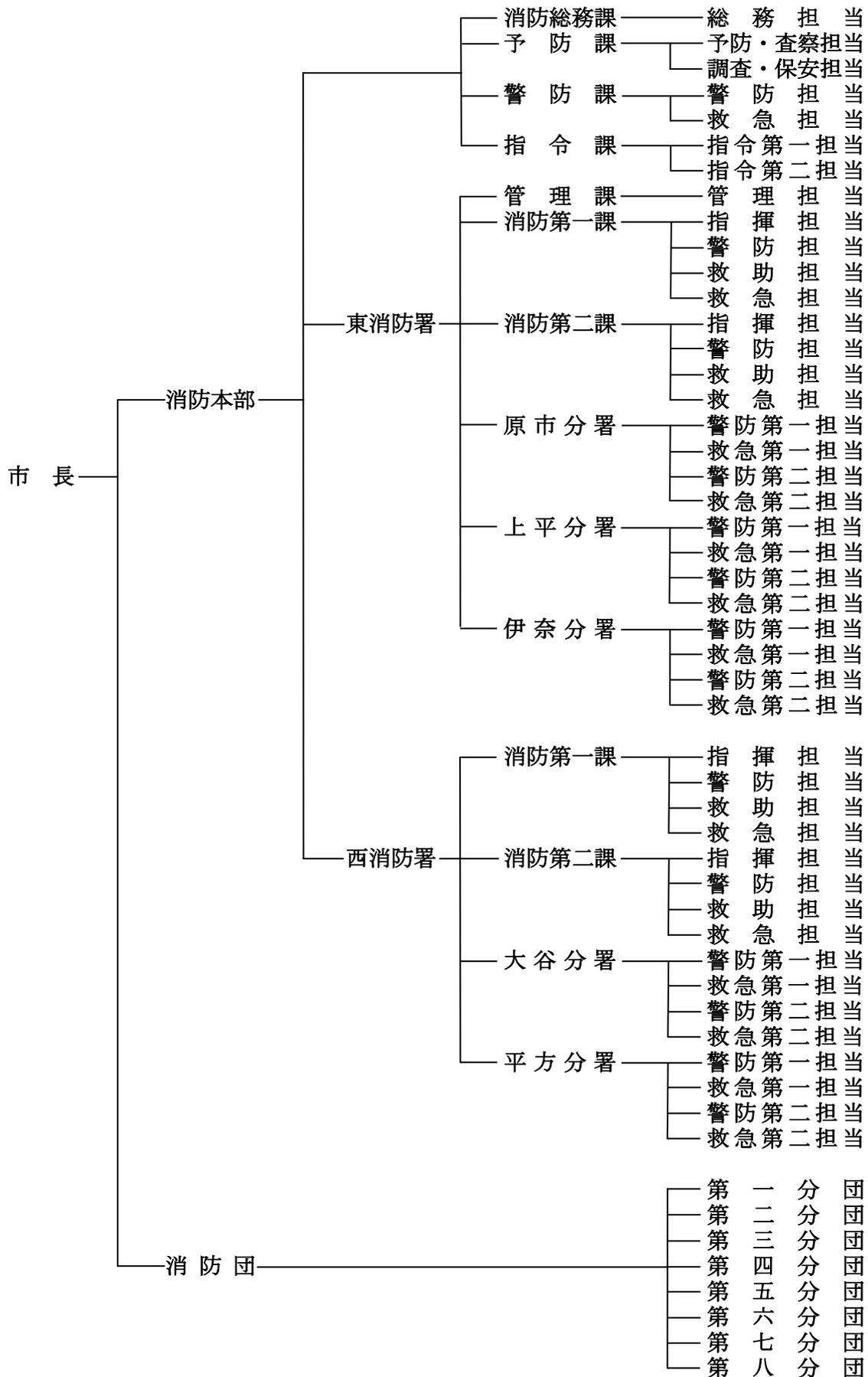
議 会 費	436,384	0.6%
総 務 費	7,753,801	9.8%
民 生 費	40,736,883	51.6%
衛 生 費	7,160,134	9.1%
農林水産業費	168,959	0.2%
商 工 費	423,974	0.5%
土 木 費	4,906,649	6.2%
消 防 費	3,772,685	4.8%
1目 常備消防費	3,030,330	—
2目 非常備消防費	26,531	—
3目 消防施設費	715,824	—
教 育 費	7,001,355	8.9%
災 害 復 旧 費	3	0%
公 債 費	6,439,173	8.2%
予 備 費	80,000	0.1%
合 計	78,880,000	100.0%

市決算と消防決算の推移

(単位：千円)

年度別 区分	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市一般会計決算	63,221,403	88,553,669	75,496,989	74,686,710	76,110,326
消防費決算額	2,584,312	2,760,495	2,838,292	2,692,984	3,541,726
消防費の割合	4.09%	3.11%	3.75%	3.60%	4.65%
常備消防費	2,316,319	2,330,567	2,291,327	2,386,221	2,861,622
非常備消防費	27,596	26,207	25,464	25,257	25,313
消防施設費	240,397	403,722	521,501	281,506	654,791
消防庁舎建設費	0	0	0	0	0
消防費に係る 基準財政需要額	2,414,934	2,423,469	2,478,177	2,416,679	2,406,107

消防機構図



事務分掌

消防本部

【消防総務課】

- (1) 公印の管理に関する事。
- (2) 消防団に関する事。
- (3) 消防統計に関する事。
- (4) 職員の人事、服装、給与、厚生及び教養に関する事。
- (5) 儀式、式典及び表彰に関する事。
- (6) 重要施策の企画、調査及び立案に関する事。
- (7) 消防本部及び消防署の組織に関する事。
- (8) 応援協定に関する事。
- (9) 予算及び決算に関する事。
- (10) 職員の服制に関する事。
- (11) 職員の公務災害補償に関する事。
- (12) 消防職員委員会に関する事。
- (13) 職員の安全衛生に関する事。
- (14) 消防施設の管理及び修繕に関する事。
- (15) 消防音楽隊に関する事。
- (16) 他の課に属さない事。

【予 防 課】

- (1) 火災予防の企画・広報及び指導に関する事。
- (2) 建築確認の同意に関する事。
- (3) 防火・防災管理者の指導に関する事。
- (4) 消防用設備等に関する事。
- (5) 上尾市火災予防条例に関する事。
- (6) 防火対象物の査察、調査及び改修指導に関する事。
- (7) 危険物の規制に関する事。
- (8) 液化石油ガスの事務に関する事。
- (9) 火薬類の規制に関する事。
- (10) 危険物取扱者の指導に関する事。
- (11) 消防法に規定する火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質の貯蔵及び取扱いに関する事。
- (12) 危険物製造所等の査察、調査及び改修指導に関する事。
- (13) 防火協力団体に関する事。
- (14) 防火対象物、危険物製造所等の違反処理に関する事。
- (15) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (16) り災証明に関する事。
- (17) 火災の統計に関する事。

【警 防 課】

- (1) 警防業務の企画立案及び警防計画に関する事。
- (2) 消防水利施設の設置及び管理に関する事。
- (3) 開発行爲に係る事前協議に関する事。
- (4) 特殊災害に関する事。
- (5) 緊急消防援助隊及び県下応援の運用に関する事。
- (6) 鉄道災害連絡協議会に関する事。
- (7) 救助業務の企画立案に関する事。
- (8) 救急業務の企画立案に関する事。
- (9) 救急救命士及び救急隊員の教育に関する事。
- (10) 地域メディカルコントロール協議会に関する事。
- (11) 埼玉県中央地区第2次救急医療に関する事。
- (12) 救急搬送証明及び要保護者の報告に関する事。
- (13) ドクターヘリ及び災害派遣医療チーム (DMAT) に関する事。
- (14) 患者等搬送事業に関する事。
- (15) 警防・救助・救急統計に関する事。
- (16) 消防車両の取得及び管理に関する事。
- (17) 消防機械器具の取得計画及び管理に関する事。
- (18) 上尾市自警消防団運営連絡協議会に関する事。
- (19) 上尾市自警消防団運営費等補助事業に関する事。

【指 令 課】

- (1) 緊急通報の受信及び出動の指令に関する事。
- (2) 火災警報及び消防信号に関する事。
- (3) 各種災害関係情報の収集及び伝達に関する事。
- (4) 加入電話の交換業務に関する事。
- (5) 消防緊急通信指令施設の運用及び維持管理に関する事。
- (6) 気象観測業務に関する事。
- (7) 埼玉県防災情報システムに関する事。
- (8) 上尾市防災行政無線に関する事。

東消防署

【管 理 課】

- (1) 公印の管理に関する事。
- (2) 署員の教養及び訓練に関する事。
- (3) 防火指導に関する事。
- (4) 消防機械器具の改善及び研究に関する事。
- (5) 消防機械器具の整備保全及び運用に関する事。
- (6) 消防車両の整備及び運用に関する事。
- (7) 上尾市火災予防条例に関する事。
- (8) 消防本部及び消防署の連絡調整に関する事。
- (9) 事業所及び自主防災組織等の訓練指導に関する事。
- (10) 応急手当の普及啓発活動の推進に関する事。

東消防署・西消防署

【消防第一課及び消防第二課】

- (1) 水災、火災等の災害活動に関する事。
- (2) 特殊災害活動に関する事。
- (3) 救助活動に関する事。
- (4) 災害の防ぎよ及び人命救助に関する事。
- (5) 救急活動に関する事。
- (6) 緊急消防援助隊及び県下応援の活動に関する事。
- (7) 消防水利の保全調査に関する事。
- (8) 教養及び訓練の実施に関する事。
- (9) 消防訓練及び救急の指導に関する事。
- (10) 上尾市火災予防条例に関する事。
- (11) 火災予防査察及び警防調査に関する事。
- (12) 救助が困難な対象物調査に関する事。
- (13) 災害活動等に必要な機械器具の維持管理に関する事。
- (14) 火災原因調査に関する事。
- (15) 防災体験コーナーの運営に関する事。(西消防署のみ)

【分 署】

- (1) 水災、火災等の災害活動及び人命救助に関する事。
- (2) 特殊災害活動に関する事。
- (3) 救急活動に関する事。
- (4) 消防水利の保全調査に関する事。
- (5) 教養及び訓練の実施に関する事。
- (6) 緊急消防援助隊及び県下応援の活動に関する事。
- (7) 消防訓練及び救急の指導に関する事。
- (8) 上尾市火災予防条例に関する事。
- (9) 火災予防査察及び警防調査に関する事。
- (10) 災害活動等に必要な機械器具の維持管理に関する事。
- (11) 火災原因調査に関する事。

消 防 力

庁 舎 施 設 概 要

◎上尾市消防本部・上尾市東消防署

所在地	上尾市大字上尾村537番地		
T E L	048(775)1311		
F A X	048(775)2230(消防本部) 048(770)1902(東消防署)		
開設年月日	昭和58年11月1日		
敷地面積	7,768.80㎡	建築面積	1,749.08㎡
延面積	2,659.06㎡	階数	2階
構造	鉄筋コンクリート造(塔屋付)		

○上尾市東消防署 原市分署

所在地	上尾市大字瓦葺1139番地		
T E L	048(722)5225		
F A X	048(720)1119		
開設年月日	昭和54年4月1日		
敷地面積	1,351.39㎡	建築面積	471.03㎡
延面積	647.32㎡	階数	2階
構造	鉄筋コンクリート造		

○上尾市東消防署 上平分署

所在地	上尾市大字上1573番地1		
T E L	048(775)0119		
F A X	048(770)1901		
開設年月日	平成6年4月1日		
敷地面積	1,508.72㎡	建築面積	545.10㎡
延面積	733.40㎡	階数	2階
構造	鉄筋コンクリート造		

○上尾市東消防署 伊奈分署

所在地	北足立郡伊奈町大字小室4885番地		
T E L	048(722)8111		
F A X	048(722)8088		
開設年月日	昭和59年4月1日		
敷地面積	4,939㎡	建築面積	850.22㎡
延面積	1,279.75㎡	階数	2階
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨		

◎上尾市西消防署

所在地 上尾市中分一丁目232番地
TEL 048(725)2624
FAX 048(780)1190
開設年月日 平成20年1月1日
敷地面積 5,019.83㎡ 建築面積 1,705.69㎡
延面積 2,284㎡
(3,607.71㎡) 大石支所・図書館大石分館を含む
階数 3階
構造 鉄骨造

○上尾市西消防署 大谷分署

所在地 上尾市大字大谷本郷908番地8
TEL 048(726)2771
FAX 048(780)1191
開設年月日 昭和63年4月15日
敷地面積 1,891.51㎡ 建築面積 693.16㎡
延面積 676.01㎡ 階数 1階
構造 鉄筋コンクリート造

○上尾市西消防署 平方分署

所在地 上尾市大字平方1713番地1
TEL 048(782)0911
FAX 048(782)0922
開設年月日 平成17年4月1日
敷地面積 3,422.43㎡ 建築面積 843.70㎡
延面積 794.41㎡
(1,680.48㎡) 平方支所・図書館たちばな分館
階数 2階
構造 鉄筋コンクリート造



【 上尾市消防本部・上尾市東消防署 外観 】



【 上尾市西消防署 外観 】

現有車両配備状況

(令和6年4月1日現在)

所属	名称	車名	年式	登録日	使用年数	備考
本部	総務車	トヨタ	H25年	H25. 8. 1	10年 8ヶ月	リース (ハイブリッド)
	調査車	トヨタ	R03年	R03. 11. 30	2年 4ヶ月	
	査察指導車	トヨタ	R01年	R01. 12. 2	4年 3ヶ月	リース (ハイブリッド)
	連絡車	トヨタ	H26年	H26. 8. 1	9年 8ヶ月	リース (ハイブリッド)
	警防車	トヨタ	H26年	H26. 7. 1	9年 9ヶ月	リース
	連絡車	スズキ	H27年	H27. 2. 6	9年 1ヶ月	伊奈分署から移管
東消防署	化学消防ポンプ自動車	日野	H22年	H22. 7. 26	13年 8ヶ月	水槽 1,500ℓ、薬液 500ℓ
	水槽付消防ポンプ自動車	UDトラックス	H22年	H22. 9. 24	13年 6ヶ月	水槽 1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	いすゞ	R05年	R05. 4. 20	0年 11ヶ月	
	救助工作車	日野	R06年	R06. 3. 21	0年 0ヶ月	小型移動式クレーン、ウインチ
	はしご付消防自動車	日野	R02年	R02. 9. 15	3年 6ヶ月	直進式 30m、伸縮水路管
	指令車	ニッサン	R05年	R05. 11. 14	0年 4ヶ月	
	高規格救急自動車	ニッサン	H31年	H31. 2. 21	5年 1ヶ月	
	非常用高規格救急自動車	トヨタ	H28年	H28. 1. 26	8年 2ヶ月	
	指揮車	トヨタ	H31年	H31. 3. 26	5年 0ヶ月	
	重機搬送車	日野	H25年	H25. 3. 15	11年 0ヶ月	3t 級重機
防災指導車	トヨタ	R04年	R04. 12. 1	1年 4ヶ月	リース	
原市分署	水槽付消防ポンプ自動車	ニッサンディーゼル	H21年	H21. 12. 14	14年 3ヶ月	水槽 1,300ℓ
	消防ポンプ自動車	日野	H22年	H22. 9. 1	13年 7ヶ月	水槽 600ℓ
	高規格救急自動車	トヨタ	H30年	H30. 2. 2	6年 1ヶ月	
	連絡車	トヨタ	H21年	H21. 3. 2	15年 0ヶ月	リース
上平分署	水槽付消防ポンプ自動車	ニッサンディーゼル	H22年	H22. 1. 15	14年 2ヶ月	水槽 1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	日野	H22年	H22. 9. 1	13年 7ヶ月	水槽 600ℓ
	高規格救急自動車	トヨタ	R02年	R02. 1. 9	4年 2ヶ月	
	連絡車	トヨタ	H18年	H18. 9. 1	17年 7ヶ月	リース
伊奈分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H26年	H26. 12. 18	9年 3ヶ月	水槽 1,700ℓ
	消防ポンプ自動車	日野	H26年	H26. 11. 26	9年 4ヶ月	水槽 600ℓ
	化学消防ポンプ自動車	日野	H24年	H24. 1. 31	12年 2ヶ月	水槽 1,300ℓ、薬液 500ℓ
	高規格救急自動車	トヨタ	R06年	R06. 2. 22	0年 1ヶ月	
	高規格救急自動車	ニッサン	R02年	R03. 1. 15	3年 2ヶ月	
	非常用高規格救急自動車	トヨタ	R06年	R06. 2. 22	0年 1ヶ月	
	連絡車	トヨタ	H31年	H31. 2. 19	5年 1ヶ月	
	連絡車	ニッサン	H25年	H25. 2. 25	11年 1ヶ月	

所属	名称	車名	年式	登録日	使用年数	備考
西消防署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H27年	H27. 3. 6	9年 0ヶ月	水槽 1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	いすゞ	R04年	R04. 2. 1	2年 2ヶ月	
	救助工作車	UDトラックス	H19年	H19. 11. 26	16年 4ヶ月	小型移動式クレーン、ウインチ
	屈折はしご付消防自動車	日野	H23年	H23. 3. 10	13年 0ヶ月	屈折式 25m、伸縮水路管
	資機材搬送車	いすゞ	R05年	R05. 7. 14	0年 8ヶ月	
	高規格救急自動車	トヨタ	H28年	H28. 1. 26	8年 2ヶ月	
	指揮車	トヨタ	R06年	R06. 1. 12	0年 2ヶ月	
	指令車	ニッサン	R05年	R05. 11. 14	0年 4ヶ月	
大谷分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H30年	H30. 3. 27	6年 0ヶ月	水槽 1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	日野	H24年	H24. 6. 11	11年 9ヶ月	水槽 600ℓ
	高規格救急自動車	トヨタ	H28年	H28. 12. 20	7年 3ヶ月	
	高規格救急自動車	トヨタ	R02年	R02. 2. 4	4年 1ヶ月	
	非常用消防ポンプ自動車 連絡車	日野 トヨタ	R05年 H18年	R05. 3. 15 H18. 9. 1	1年 0ヶ月 17年 7ヶ月	水槽 1,500ℓ リース
平方分署	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	R03年	R03. 1. 20	3年 2ヶ月	水槽 1,500ℓ
	資機材搬送車	日野	H28年	H28. 12. 21	7年 3ヶ月	西消防署から移管
	高規格救急自動車	トヨタ	R06年	R06. 2. 22	0年 1ヶ月	
	連絡車	三菱	R04年	R05. 2. 24	1年 1ヶ月	電気自動車

令和5年度更新車両



東消防署 救助工作車Ⅲ型

消防用資機材保有状況

分類	所属別 資機材	東消防署	救助隊	原市分署	上平分署	伊奈分署	西消防署	救助隊	大谷分署	平方分署	合計
		一般救助用器具	かぎ付きはしご	4	2	1	1	2	4	2	1
	三連はしご	4	1	2	2	3	4	1	2	1	18
	金属製折りたたみはしご又はワイヤーはしご	2	2				2	2			4
	空気式救助マット	1	1				1	1			2
	救命索発射銃	1	1				1	1			2
	サーバイバースリング又は救助用縛帯	6	4	5	3	2	3	3	2	2	23
	平担架	2		1			2	1			5
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	1								1
	可搬ウインチ	7	2	1	1	2	4	2	1		16
	マンホール救助器具	1	1				1	1			2
	マット型空気ジャッキ	1	1				1	1			2
	大型油圧スプレッター	1	1				1	1			2
	救助用支柱器具	1	1				1	1			2
切断用器具	油圧切断機	1	1								1
	エンジンカッター	5	2	1	1	2	3	2	2	1	15
	ガス溶断機	1	1				1	1			2
	チェーンソー	4	2	2	1	2	3	1	2	2	16
	鉄線カッター	14	6	4	3	2	8	4	2	1	34
	空気鋸	1	1				1	1			2
	大型油圧切断機	1	1				2	2			3
破壊用器具	万能斧	8	3	3	3	7	9	3	4	2	36
	ハンマー	2	2	1		4	6	1	1	1	15
	携帯コンクリート用破壊器具	2	1		1	1	1	1	1	1	7
	削岩機	1	1			1	1	1			3
	ハンマードリル	1	1			1	2	2			4
測定用器具	複合型ガス測定器	5	2	1	1	1	2	1	1	1	12
	有毒ガス検知管	2	1	1	1	1	2	1	1	1	9
	放射線測定器	4	4			4	3	3	1		12
山岳	バスケット型担架	5	3	1	1	1	4	2	1	1	14
検索	簡易画像探索機						1	1			1

分類	所属別 資機材	東消防署	救助隊	原市分署	上平分署	伊奈分署	西消防署	救助隊	大谷分署	平方分署	合計
		呼吸保護用具	空気呼吸器	15	6	7	7	10	14	7	
	酸素呼吸器	5	5				5	5			10
	簡易呼吸器	2	2				2	2			4
	防塵マスク	15	15				15	15			30
	送排風機	2	1				2	2			4
隊員保護用具	耐電手袋	5	5	1	1	1	5	5	1	1	15
	耐電衣	5	5				5	5			10
	耐電ズボン	5	5				5	5			10
	耐電長靴	5	5	1	1	1	5	5	1	1	15
	防塵メガネ	35	35	5	5	6	10	10	8	10	79
	携帯警報機	15	6	7	7	10	14	7	8	4	65
	防毒マスク	15	15			13	10	10	3		41
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	38	15	3	3	3	38	15	3	3	91
	陽圧式化学防護服	7	7				6	6			13
	耐熱服	2								2	4
	放射線防護服	5	5				2	2		3	10
除染	除染シャワー	2	2			1	1	1			4
	除染剤散布器	2	2				2	2		2	6
水難救助用具	救命胴衣	20	20	9	5	8	28	28	4	19	93
	救命浮環	5	5	2	1	5	5	5	1	2	21
	浮標	1	1				2	2		3	6
	救命ボート					1	1	1		2	4
	船外機						2	2		2	4
高度救助器具	地中音響探知機	1	1								1
	熱画像直視装置	2	1			1	2	1		1	6
その他の救助用具	投光器	6	3	2	2	7	5	3	2	1	25
	携帯投光器	9	5	3	2	2	4	3	2	1	23
	携帯拡声器	11	6	4	3	3	5	2	2	3	31
	携帯無線機	10	3	5	5	8	7	2	4	3	42
	応急処置セット	3	1	2	2	1	3	1	2	1	14
	車両用移動器具	1	1				1	1			2
	緩降機	2	2				2	2			4
	ロープ登降機	5	5				1	1			6
	発電機	12	5	3	2	7	12	4	3	2	41

緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災を教訓に、全国の消防機関による応援を速やかに実施するため、平成7年度に創設され、国内で大規模災害が発生した際には、消防庁長官の要請等により直ちに応援に出動します。

当消防本部の登録状況は、消火小隊5隊、救助小隊1隊、救急小隊2隊、特殊装備小隊1隊、後方支援小隊1隊、計10隊37人を緊急消防援助隊として登録しています。

平成31年度には埼玉県土砂・風水害機動支援部隊が新たに編成され、救助小隊と特殊装備小隊が部隊編成されました。



特殊装備小隊
東消防署 重機／搬送車

○ 緊急消防援助隊登録小隊

小 隊	所 属	車 両
消火小隊	東消防署	ポンプ車
	東消防署 原市分署	ポンプ車
	東消防署 伊奈分署	タンク車
	西消防署 大谷分署	タンク車
	西消防署	ポンプ車
救助小隊	東消防署	救助工作車
救急小隊	西消防署 平方分署	救急車
救急小隊	西消防署 大谷分署	救急車
特殊装備小隊	東消防署	重機／搬送車
後方支援小隊	西消防署	資機材搬送車



消火小隊
西消防署大谷分署タンク車

○ 緊急消防援助隊活動実績

1 平成16年7月新潟・福島豪雨災害

平成16年7月13日に発生した「新潟・福島豪雨災害」では、14日・15日の2日間、消火小隊1隊4名、救急小隊1隊3名の計2隊7名を新潟県に派遣し、三条市内の冠水した住宅等に孤立する住民を救命ボートで救助しました。

2 平成16年新潟県中越地震

平成16年10月23日に発生した「新潟県中越地震」では、24日・25日の2日間、救急小隊1隊4名を新潟県に派遣し、小千谷市内で多くの傷病者を救急搬送しました。

3 平成23年東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」では、発生直後から消火小隊1隊5名を岩手県陸前高田市に派遣し、3月31日までに延べ5隊25名の職員が余震の続く中、生存者の検索活動を中心に支援を行いました。

また、福島第一原発事故では、3月26日から救急小隊1隊3名を福島県福島市・本宮市に派遣し、5月4日までに延べ7隊21名が福島第1原発20kmから30km圏内を中心に在宅介護の巡回診療の補助や救急搬送を行いました。

大規模災害対策資機材整備事業

分類	資機材	所属別		合計
		東消防署 (原市・上平・伊奈分署を 含む)	西消防署 (大谷・平方分署を含む)	
救護所設営資機材	インバーター発電機(2kw～2.9kw)	7	4	11
	インバーター発電機(3kw～4.0kw)	1	1	2
	大型エアーテント	3	4	7
	折り畳み式テント	1	1	2
	簡易トイレ	2	3	5
	バルーン照明	1	1	2
	可搬クーラー	2	2	4
	大型扇風機	4	2	6
	ジェットヒーター	1	1	2
	石油ストーブ	4	3	7
	救護ベット	33	28	61
	救護毛布	59	20	79
	万能搬送具(二分割担架)	1	0	1
	固定用副子	26	18	44
	多機能型感染患者搬送袋	18	30	48
	活動資機材	可搬式消防ポンプ	4	3
仮設貯水槽		6	3	9
リアカー(折畳式)		4	2	6
のこぎり		26	14	40
鉋(なた)		1	1	2
つるはし		6	6	12
ハンマー(大)		1	5	6
かけや		20	6	26
スコップ		71	28	99
バール(大)		30	12	42
万能斧		11	3	14



大型エアーテント



可搬式消防ポンプ

消 防 力 の 整 備 指 針

		基準台数 (台)	基準台数 に対する 人員の基 準数(人)	現有台数 (非常用 を除く) (台)	現有台数に 対する人員 の基準数 (人)	現有人員数 (人)	
指揮 隊員	指揮車	2	3 4 3	2	3 4 3	2 6 4	比率 (%) (現有人員数合計② /基準人員数合計① ×100)
消防 隊員	消防ポンプ 自動車	1 3		1 3			
	化学消防車	1		2			
	特殊車等	1 1		1 1			
救急 隊員	救急自動車	9		9			
救助 隊員	救助工作車	2		2			
	はしご自動車	2	2				
小 計		4 0	3 4 3	4 1	3 4 3	2 6 4	
通信員		/	1 4	/	1 4	1 4	
予防要員			2 8		2 8	1 3	
庶務の処理等の人員			3 7		3 7	3 7	
小 計		/	9 1	/	7 9	6 4	
合 計		4 0	4 2 2	4 1	① 4 2 2	② 3 2 8	7 7 . 7

年 齢	人 数													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
18歳														
19歳														
20歳														
21歳														
22歳														
23歳														
24歳														
25歳														
26歳														
27歳														
28歳														
29歳														
30歳														
31歳														
32歳														
33歳														
34歳														
35歳														
36歳														
37歳														
38歳														
39歳														
40歳														
41歳														
42歳														
43歳														
44歳														
45歳														
46歳														
47歳														
48歳														
49歳														
50歳														
51歳														
52歳														
53歳														
54歳														
55歳														
56歳														
57歳														
58歳														
59歳														
合 計	328名													
平 均	平均年齢 38.7歳													

消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計 (人)
							4	4
							7	7
							5	5
							8	8
							10	10
							9	9
							6	6
							12	12
						3	10	13
						3	10	13
					6	1	3	10
					6			6
					7			7
					5			5
					11			11
					5			5
					6			6
					9			9
					5			5
				3	2			5
				3	1			4
				6	1			7
				5	3			8
				13				13
				4	1			5
				9				9
			2	4				6
			4	3				7
			4	2				6
			6	1				7
			6	1				7
			10	2				12
			9					9
			8					8
		1	5					6
		2	6					8
		3	6					9
		2	4					6
			4					4
			2	2				4
1	1	7	4					13
	2	6	6					14
1	3	23	86	56	68	7	84	328
58.0	58.7	56.7	51.3	41.8	32.9	26.7	23.3	38.7

教育・訓練実施状況（過去5年間）

消防大学校

課程 \ 年度	H 3 1	R 2	R 3	R 4	R 5
幹部科	1	1		1	
救助科	1				1
火災調査科					
違反是正特別講習会					
査察業務マネジメントコース		1			1
危機管理・国民保護コース					
消防団活性化推進コース				1	
合 計	2	2	0	2	2

県消防学校

課程 \ 年度	H 3 1	R 2	R 3	R 4	R 5
初任教育	6	8	4	8	1 3
救急科	9	5	9	9	1 1
救助科	2	2	2	1	2
警防科	2	2	2	2	2
警防活動教育	2		2	2	2
予防査察科		2		2	
火災調査科	2		2		3
特殊災害科		2		2	
実火災訓練指導者教育					
実火災訓練教育	2	2	2	2	3
初級幹部科	1	1	1	1	2
実科指導員教育					
合 計	2 6	2 4	2 4	2 9	3 8

救急救命士

\ 年度	H 3 1	R 2	R 3	R 4	R 5
救急救命士	2	2	1	1	1
指導救命士	2	1	1	1	1

消 防 水 利

消防水利には消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に区別できますが、当市ではその大部分を人工水利で占めています。

消火栓は連続的に給水され簡便に使用できる利点がありますが、配管口径による給水量の制約、断・減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点も併せ持っています。こうした消火栓の持つ弱点をカバーするためにも、防火水槽などを地域の実情に応じて計画的に整備する必要があることから、積極的に消防水利の整備に努めるとともに、屋内・屋外に設けられるプールについても採水口の設置を要請するなど消防水利の確保に努めています。

市町・地区別消防水利 (令和6年4月1日現在)

市町・地区 施 設		上尾市						伊奈町	合計		
		上尾	平方	原市	大石	上平	大谷			計	
総 計		1,017	251	533	869	560	556	3,786	833	4,619	
消 火 栓		540	173	318	553	368	354	2,306	538	2,844	
防 火 水 槽		469	74	209	311	188	195	1,446	289	1,735	
内 訳	公 設	20m ³ 級	54	24	37	61	47	44	267	88	355
		40m ³ 級	27	9	24	38	18	16	132	23	155
		60m ³ 級	3	0	1	0	0	1	5	0	5
		80m ³ 級	0	1	0	0	0	0	1	0	1
		100m ³ 級	5	1	0	4	2	2	14	6	20
		計	89	35	62	103	67	63	419	117	536
	私 設	20m ³ 級	238	18	111	151	80	82	680	79	759
		40m ³ 級	111	19	30	52	37	31	280	61	341
		60m ³ 級	20	2	6	2	2	2	34	22	56
		80m ³ 級	6	0	0	1	2	2	11	4	15
		100m ³ 級	5	0	0	2	0	15	22	6	28
		計	380	39	147	208	121	132	1,027	172	1,199
	プ ー ル		8	4	6	5	4	7	34	6	40

消 防 音 楽 隊

消防音楽隊は、平成13年6月1日の発足以来、消防関係行事をはじめ市主催の各種行事に参加し、広く市民に接することで消防に対する理解を深めていただくとともに、防火・防災思想の普及啓発に努めています。

スローガン 「広げよう！市民と消防で奏でる火災予防のハーモニー」



1 組織編成（令和6年4月1日現在）

隊 長	1人	
副 隊 長	2人	
隊 員	22人	計25人

2 楽器編成

・フルート	1	・クラリネット	2	・アルトサククス	4
・テナーサククス	2	・バリトンサククス	1	・トランペット	3
・フレンチホルン	2	・トロンボーン	3	・ユーホニウム	1
・チューバ	2	・パーカッション	4		

3 令和5年度の活動状況

・合奏練習	36回
・公演出場	7回

防災体験コーナー

消防本部では、市民の方々に防災知識を身につけていただくため、防災体験コーナーを西消防署複合施設内に設置しています。この施設では、起震装置による地震体験・防災DVDの視聴や防災用品の展示などを行っています。

所在地：上尾市西消防署複合施設内（上尾市中分一丁目232番地）

開館時間：午前9時00分～午前12時00分（土日祝日は午前10時00分～）

午後1時00分～午後4時30分

（地震体験コーナーの受付は午後4時15分まで）

※災害により職員が不在の時は利用できません。

休館日：年末年始（12/29～1/3）

利用料：無料

問合せ先：048-726-6013



地震体験コーナーでは、震度7までの体験や過去の地震体験（6種類）も出来ます。



水消火器による消火体験や、住宅用火災警報器の設置指導等も行っています。

令和5年度の利用者数

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
49	38	49	167	168	148	246	623	133	130	63	144	1958

